

みんなで松本市の生態系を守ろう!

特定外来生物の 駆除にご協力ください!!



もともとその地域になかったのに、人の手によって他の地域からもちこまれ、
他の生物が育つのをさまたげたり、農作物に被害を与えたりします。
松本市では特に4つの植物の駆除をお願いしています。



オオキンケイギク

春から夏にかけて直径5~7cmの黄色い花を咲かせる。河川敷、道ばたの日当たりの良い場所に生育する。花が咲く前(5月末~6月中旬)に駆除することが効果的。



アレチウリ

成長速度が非常に早いつる性植物で、長いものは10m以上になる。開花は8~10月、開花前(6月頃)の小さい個体の駆除が効果的。



オオカワヂシャ

4~9月に直径5mm程の淡い紫色の花を咲かせる。河川の岸部や湿地に生息する。大きくなると1mを超えるので、小さなうちに駆除することが効果的。



オオハンゴンソウ

乗鞍高原や上高地など、標高の高い場所に群生する。希少な在来植物と競合し、駆逐するおそれがある。花が咲く前(7月中)の駆除が効果的。

製作 松本市河川をきれいにする会連絡協議会・松本市環境衛生協議会連合会

特定外来生物に関する問い合わせ 松本市環境部環境保全課

TEL: 0263-34-3024 (直通)
E-mail: kankyo-k@city.matsumoto.lg.jp



松本市の自然を守るため、おぼえて駆除しよう

これらの植物は、一度繁茂すると駆除するのにたくさんの時間と労力がかかります。自宅周辺などで見かけましたら、抜き取るなどの駆除をお願いします。

(平成29年4月作成)

オオキンケイギク

薄川や梓川などの河川のほか、宅地などで増えています。



花 花びらの先は不規則に4~5つに分かれている。



葉 細長いへら状の葉が特徴。葉のまわりはなめらかで、横幅は1cm程度。

北アメリカ原産。キク科の多年生植物。高さは30~70cm程度。観賞用や緑化用に導入され野生化。刈り取りに対する再生力が強く、繁殖力が旺盛。

アレチウリ

奈良井川や女鳥羽川などの河川のほか、道路わきなどで増えています。



葉 芽生え。この時期(6月)の駆除は比較的容易にできる。



実 果実には硬いとげがあり、たくさんの種子が入っている。

北アメリカ原産。ウリ科の一年生植物。成長速度が非常に早い。性植物で、長いものでは10m以上になる。1株あたり400個以上の種子をつけ発芽率は70%とされている。

オオカワヂシャ

女鳥羽川や田川などの河川で増えています。



花 直径5mmほどの淡い紫色が特徴。



葉 葉は先のとがった細長い形。葉のまわりのギザギザが目立たない。



葉 のこぎり状のギザギザが特徴 ▲ 在来種のカワヂシャ

ヨーロッパからアジア北部原産。河川や湧水地など水の流れの緩やかな場所に生息し、高さは30cm~1mまで成長する。在来種のカワヂシャ(絶滅危惧種)と交配して、激減する原因ともなっている。

オオハンヨシソウ

乗鞍高原や上高地などで増えています。



花 鮮やかな黄色い頭状花が特徴。大きさは6~10cmほど。



葉 葉は、3つに分かれており、ギザギザの切りこみが特徴。

北アメリカ原産。過去に園芸用として流通したものが野生化、高さは50cm~3mに達する。地下茎から繁殖するため、地中に茎や根を残さないように除去することが必要。

駆除の方法

これらの特定外来生物は、とても高い繁殖力を持っているため、種や根が他に飛散ないように密封し、焼却することが大切です。

- 1 そのままの状態できれいに抜き取ります。抜き取れない場合は刈り取ってください。
- 2 抜き取った(刈り取った)植物は、飛散ないように指定のゴミ袋へ入れてください。
- 3 地域のごみ集積場に運んでください。
- 4 松本クリーンセンターにおいて焼却処分します。